

「天保15年阿蘭陀国使節兵船長崎来津之図」(経済学部分館・武藤文庫所蔵)

contents

△ 医学分館長に就任して	1
▽ 平成15年度教育改善推進経費による『附属図書館機能を活用した長崎大学情報メディア戦略の実現と法人化時代の附属図書館公開に関するプロジェクト』の紹介	3
△ 『武藤文庫資料一般公開展』開催	4
▽ データベース紹介 SwetsWise (スウェッツワイズ)	6
△ 卒業論文作成のための資料・文献収集法	8
▽ 長崎駅前でご覧の画像データベースを紹介	10
△ 最近の図書館サービスから	11
▽ 県内大学図書館と公共図書館間で「資料の相互利用・文献複写サービス」を開始!!	12
△ 本学関係著作寄贈図書 13	▽ 情報スクランブル(新館報名募集!) 14



## 医学分館長に就任して

長崎大学附属図書館医学分館長 相川 忠臣  
(大学院医歯薬総合研究科・医学部教授)

医学分館長に思いもかけず7月16日付けで就任して4ヶ月が経ち、時代の変化の荒波にさらされている図書館の現状をようやく理解できるようになった。

医学分館を訪れるとパソコンコーナーにはいつも学生が数人座っていて、二階の学生閲覧室ではかなりの学生が熱心に勉強している。一方、研究者は電子ジャーナルを使用するからか見か

けず、冊子離れ、図書館離れを起こしていることがわかる。このような現状に対応して図書館は学生中心の運営にして、齋藤 寛学長の標榜されている学生顧客主義に徹する一方、電子ジャーナルを充実して研究者の役に立っていかねばならない。医学分館運営委員会で認めていただき実行に向けて動き出したいいくつかの方策を説明したい。

### グビロが丘文庫の設立

医療人は自分自身のものではなく病める人のものであるという開学の祖ポンペの言葉を実現するべく、患者のこころのわかる医療人を目指した人間教育カリキュラムが企画実行されている。しかし医学分館には専門書ばかりでそれを支援するような人間形成に資する図書は見当たらない。長崎医学同窓会誌「朋百（ポンペ）」に、自分が読んで感動し後輩にも読ませたいと思う本を送っていただき、人間形成に資するグビロが丘文庫を設立したいという記事を書いたところ、早速同窓生 5、6 名の方から 200 冊以上が送られてきた。グビロが丘（虞美人草の咲く丘の意、原爆慰霊碑がある）という名前でなつかしい学生時代を思い出され、白寿の柏村淡水氏が送ってこられた画集が寄贈第一号であった。画集を見ると先生の枯淡で清冽な心境がうかがわれて感動を覚える。その後まさに医療人の読むべき本だと納得のいくものが次から次へと広いジャンルから全く重複なく送られてくる。膨大な書籍の世界から選び抜かれた本が閲覧室のグビロが丘文庫の書架に置かれる日は近い。

### 日曜日の開館

現在医学分館では平日は午前 9 時から午後 9 時まで、土曜日は午前 10 時から午後 5 時まで開館している。学生や研究者の長年の要望に応じて日曜祭日も午前 10 時から午後 5 時まで開館する。共同図書室はカードによって終日出入りができるので、平日午後 5 時から 9 時までを担当しているパート職員を医学分館の勤務に移して日曜祭日の開館を平成 16 年 4 月より開始する。（ただし、年末正月、5 月連休、盆休みは開館しない）6 年生だけでなく大部分の 5 年生が夏休み前から国家試験に向けて閲覧室で勉強を開始している。日曜日の開館は高学年の学生や時間の不規則な研究者にとって朗報であろう。

### 学生図書委員

学生図書委員を医学部 1 年から 4 年各 1 名、5 年 2 名選出し、選書や図書館運営に学生の意見を反映したい。近日中に保健学科と歯学部の子学生図書委員も決まる。グビロが丘文庫の収集依頼と運営にも活躍してもらう予定である。

### 電子ジャーナルの将来

電子ジャーナルコンテンツ小委員会の委員長を拝命して初めて金食い虫の電子ジャーナルの実態を知った。中村 卓前医学分館長は電子ジャーナル時代に備えて多くの改革をされた。文部科学省からの経費と大学本部の間接経費等に加えて、医学分館の冊子購入を大幅に見直してその経費を捻出された。これとは別に薬学系が独自に購入されているものもある。幸い今年度も間接経費等の配分を受け、なんとか約 7000 タイトルの電子ジャーナルを用意できているが、九州の国立大学 5 校と私立大学 3 校が使用している引用文献検索機能に優れた Web of Science には高額なので手が出なかった。この購入も近い将来視野にいれなければならない。

### 共同図書室の設備の充実

臨床研修医のマッチング制度が始まり、6 年生は全国の病院から志望先を選択するようになった。附属病院 10 階の共同図書室の設備を、臨床研修医の勉強に適するように早急に充実しなければならない。澄川耕二病院長のご配慮で、早速 6 台のパソコンが設置される。

### 展覧会の開催

医学分館の貴重図書や貴重資料には世に誇るべきものが数多くある。来年度は岡林 隆敏図書館長の要望もあり、ぜひ医学分館の宝を紹介する展覧会を開いてみたい。

医学分館の運営にご意見があればぜひ E-mail(taikawa@net.nagasaki-u.ac.jp)等でお寄せください。

## 平成15年度教育改善推進経費による『附属図書館機能を活用した長崎大学情報メディア戦略の実現と法人化時代の附属図書館公開に関するプロジェクト』の紹介



このプロジェクトは、附属図書館研究開発室の支援を仰

ぎながら、附属図書館の大学における文化活動を活性化し、加えて学外の長崎市民に対しても、情報公開をすることを目的にしています。21世紀の大学の図書館の活動は、大学の学術・文化情報の活用まで拡大する必要があります。そのような活動を実現させる附属図書館を取り巻く組織のあり方を検討する必要があります。

### ①武藤文庫公開プロジェクト（平成15年度10月1日から5日）（終了）

長崎大学の情報メディア戦力として、特に「武藤文庫」を市民に公開するための試行的実験を行う。展示室の整備、説明パネル作成、展示方法の変更を行う。10月1日から5日まで公開し、好評のうちに終了しました。

### ②新規購入古写真展示プロジェクト（平成16年1月22日～2月5日）（開催決定）

平成16年1月22日から2月5日まで、出島ヘトル部屋で開催予定です。平成15年度には新規購入分70点程をパネル化して公開します。長崎市の明治期の「浜の町」や「大浦海岸通り」など貴重な写真が含まれています。

### ③全学教育支援図書公開プロジェクト（進行中）

### ④長崎大学広報誌（CHOHO）に連動した公開講座（開催決定）

長崎大学の広報誌（CHOHO）では、長崎学と古写真に関する企画を連載しています。若木教授、姫野教授（環境科学部）、勝俣教授（教育学部）、岡林（図書館長）の4名が、1月24日、25日の2日間、写真展の当日、メルカ築町で古写真の解説を行います。

附属図書館長 岡林隆敏

### ⑤長崎大学学術・文化情報の電子媒体による公開（制作中）

電子図書館機能を付加して、様々な長崎大学の学術・文化情報を発信する必要があります。このために、情報システム系の機能を強化しております。現在長崎大学附属図書館デジタルアーカイブとして、経済学部「武藤文庫」、医学部「医学史資料」を制作中です。

### ⑥企業支援による集書プロジェクト（進行中）

全学教育における「教養特別講義」では、長崎、平和、福祉・ボランティアに関する講義が行われています。この講義を支援するために、講義に関係した参考書を開架図書として並べ、多くの企業や市民に支援された図書館造りを目指し、外部資金を導入するプロジェクトを実施しております。

### ⑦図書館の立場から見た「文化・学術センター」構想の策定（検討中）

大学図書館は学生の要求の変化、図書館機能の変化、電子化に対応して大きく変化する時期にあります。附属図書館が「学習のためのセンター」「文化・学術センター」機能を強化するための、附属図書館の改革を検討中です。

### ⑧長崎大学附属図書館研究の発行（検討中）

研究開発室、古写真資料室の研究活動、附属図書館の業務改善を発表する場として、附属図書館の新しい取り組みの成果を公表するための、研究・実務の広報誌を発行します。

簡単に現在進行中の長崎大学教育研究改善経費に関するプロジェクトの紹介をさせて頂きました。この成果を、単年度の活動だけでなく、永続的な図書館の活性化に生かして生きたいと考えております。

## 『武藤文庫資料一般公開展』開催

附属図書館経済学部分館では、10月1日(水)～5日(日)までの5日間『武藤文庫資料一般公開展』と題して展示会を実施しました。以下では、武藤文庫の紹介と展示会の模様について報告いたします。

### 【武藤長蔵博士について】

「図書館前に建つ武藤博士顕彰レリーフ」  
(制作者は長崎平和祈念像で有名な北村西望氏)



武藤博士は、明治14年(1881)に愛知県東海郡津島町(現津島市)で生まれました。名古屋商業学校から東京高等商業学校(現一

橋大学)に入学し、明治38年に卒業したのち、上海にあった東亜同文書院を経て、明治40年に2年前に設立されたばかりの長崎高等商業学校の教授に就任しました。経済学史、鉄道論、銀行論、植民政策、交通論などの講義を担当し、昭和11年(1936)に退官したのちも、昭和17年6月に61歳で亡くなるまで名誉教授として教壇に立ち、一貫して高等商業教育に力を尽くされました。長年の功績に対し、大正13年(1924)にはオランダ国王より”オフィシエー・オランジュ・ナッソウ”4等勲章、大正15年にはスエーデン国王より”シュヴァリエー・ワザ”勲章、昭和12年にはドイツ国政府より”ドイツ赤十字勲章”2級が授与されています。また、昭和14年には著書『日英交通史之研究』に対し、慶応義塾大学より経済学博士の学位が与えられました。博士は、数々の逸話を持つ所謂“変わり者”としても有名でしたが、国内外に広く交流を持つ国際的社交家であり、「私設大

使”の観を呈する」と人から言われるほど多くの著名人と親交を結んでおりました。今展示会においても芥川龍之介や齊藤茂吉(長崎医専教授)のサイン入り贈呈本・記念写真など、これらの人々との交流を示す資料をいくつか展示いたしました。



「左から菊地寛、芥川龍之介、武藤長蔵、永見徳太郎」  
(大正八年長崎永見邸にて)

### 【武藤文庫について】

武藤文庫は博士が亡くなられたあと、長崎高等商業学校の同窓会・瓊林会けいりんがご遺族から譲り受け、昭和21年(1946)の創立40周年記念式典にさいして長崎経済専門学校(長崎高等商業学校の後身、経済学部の前身)に寄贈されました。和洋図書ならびに雑誌・小冊子類約1万冊及び地図・書画・陶器等の各種資料約200点からなり、経済学関係の古典や対外交渉史関係の資料など広範囲な学問分野にわたり多くの稀覯書が含まれています。また武藤博士は、『長崎ぶらぶら節』で有名な郷土史家古賀十二郎や初代県立図書館長であった永山時英と共に所謂「長崎学」三羽鳥と称されていたことから分かります。地元長崎関係の資料もたくさん収集されていました。

今回はこれらの中から80点ほどを厳選し

展示しました。主な展示品は次のとおりです。

### 【今回公開の主な展示資料】

- ・長崎関係資料
  - 長崎出島之図（伝川原慶賀画）
  - 鳴滝塾舎之図（成瀬石痴画）
  - オランダ人夫婦相愛の図（松井硯山画）
- ・対外交渉史資料
  - トリゲス『日本通信、1609-1610』 1615
  - シボルト『日本旅行記』（仏語版） 1838
  - 志筑忠雄訳『鎖国論』（写本）
- ・経済学の古典
  - アダム・スミス『国富論』（初版本） 1776
  - リカード『経済学および課税の原理』（初版本）1817
  - マルサス『経済学原理』（初版本） 1820
- ・語学関係資料
  - ゴシカウヰチ、橋耕齋編『和魯通言比考』 1857
  - 堀達之助編・堀越亀之助補『改正増補 英和对訳袖珍辞書』 1866



【写真 左上：鳴滝塾舎之図、左下：長崎出島之図、  
右：オランダ人夫婦相愛の図】

### 【展示会について】

この展示会は、長崎大学附属図書館の持つ貴重な資料を学内はもとより、広く一般の方にも観ていただくという趣旨のもとに、学長裁量経費によって整備し公開したものです。

テレビや新聞で紹介されたこともあり、期間中多くの来館者がありました(255名)。訪れた人からは、「一度見てみたかったものを見ることができてうれしかった」といった感想や、「母校へ足を運ぶよい機会となるので定期的に公開してほしい」などという意見とともに、明治期の展示ケースをそのまま使用したこともあって、昔を懐かしむ卒業生の声

も多く寄せられました。



【展示会場風景】

また4日(土)には、前附属図書館専門員 喜多芳明氏による展示資料の説明会が行われました。資料そのものの説明もさることながら、高等商業学校以来の旧図書館の様子を知るだけに、実体験に基づく話は往時を知る人々には懐かしさもひとしおのようで、1時間の間28名の参加者は熱心に聞き入っていました。



【展示説明会】

なお、附属図書館では、武藤文庫のホームページを立ち上げていますので展示品等の詳しい内容につきましてはそちらをご参照ください。

### 【URL】

<http://www.1<sup>エル</sup>b.nagasaki-u.ac.jp/muto/mutobunko.html>  
(経済情報係)

## データベース紹介

# SwetsWise (スウェッツワイズ) ・ ・ 外国学術雑誌コンテンツ情報

SwetsWise は、世界各国の出版社(現在約 4,000 社)の学術雑誌、約 16,000 タイトルの目次情報を、一度に検索や閲覧ができる大変便利なデータベースです。出版社を意識することなく、いろいろな出版社から発行されている雑誌を一度に網羅的に検索することができます。

### <すぐに利用できるサービス>

- あらゆる分野の学術雑誌（人文系も含む）の目次情報が検索・閲覧できます。
- Elsevier 社の雑誌については、論文単位で全文へのリンクがあります。Elsevier 社以外で長崎大学で電子ジャーナルを導入しているものについては、雑誌のトップページへのリンクがあります。（Go to EJ で表示）

### <登録が必要なサービス>

- 登録した雑誌の最新号が発行されるたびに、目次情報を E-mail で受け取る事ができます。
  - よく使う雑誌を favorite として登録することができます。
  - 検索式を登録することができます。その検索式による最新論文の検索結果を E-mail で受け取る事ができます。（頻度については自分で設定できます。）
- \* 登録サービスは、学内の教職員、大学院生に限らせていただいています。

### <使い方>

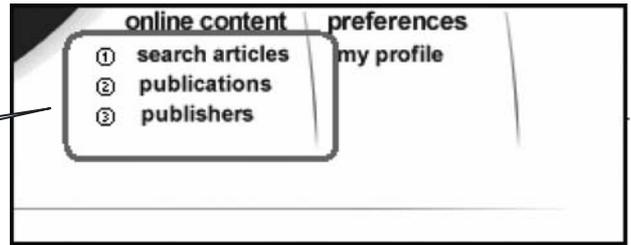
図書館トップページ⇒データベース⇒SwetsWise

“Please login via IP authentication” という注意のページが表示され、自動的にログインページにジャンプします。“log in via IP authentication”をクリックしてください。（登録サービスを利用する時は、ID,Password を入力して login ボタンをクリックください。）

The screenshot shows the SwetsWise login interface. On the left, there is a section titled 'about SwetsWise' with a brief description of the service. On the right, there is a 'login' section with two input fields: 'user ID' and 'password'. Below these fields are buttons for 'login', 'forgot password?', and 'login via IP authentication'. Two callout boxes provide instructions: one points to the input fields, stating 'ユーザー登録している人はここに ID、Password を入力してください' (For users who are registered, please enter ID and Password here); the other points to the 'login via IP authentication' button, stating '登録していない人、登録サービスを利用しない人はここをクリックしてください' (For users who are not registered or do not use the registration service, please click here).

ログインページ

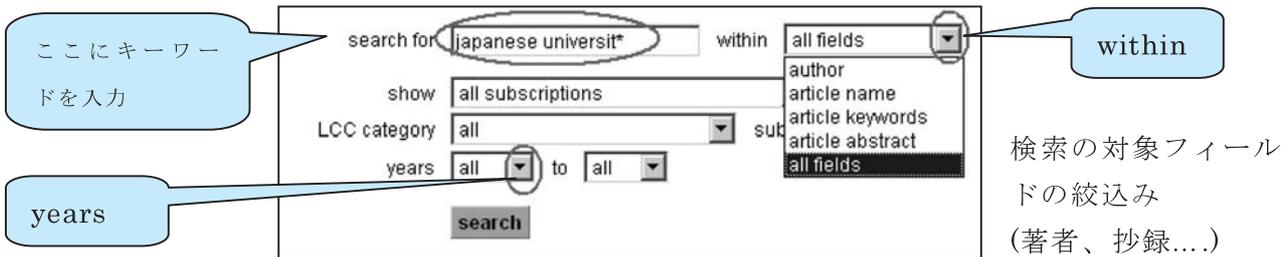
- ① キーワード検索 ⇒ **search articles**
- ② 雑誌タイトルからの検索 ⇒ **publications**
- ③ 出版社検索 ⇒ **publishers**



ここをクリック

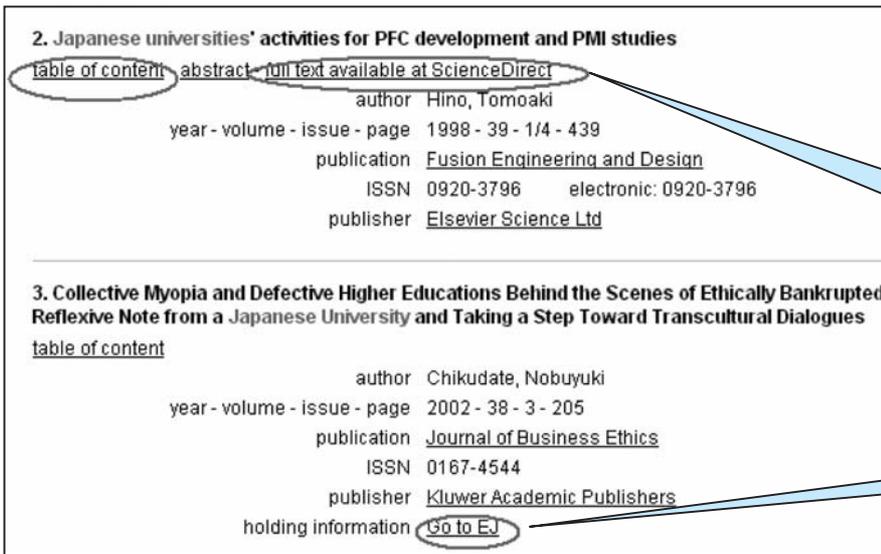
<画面上方ナビゲーションバー>

① **search articles** search for の後ろのボックスにキーワードを入力します。  
 例) **japanese universit\*** (\*をつけると前方一致検索になるので、**university** や **universities, universität** 等も検索できる)



ここにキーワードを入力  
 years  
 年の絞り込み  
 <検索結果>

within  
 検索の対象フィールドの絞り込み  
 (著者、抄録...)

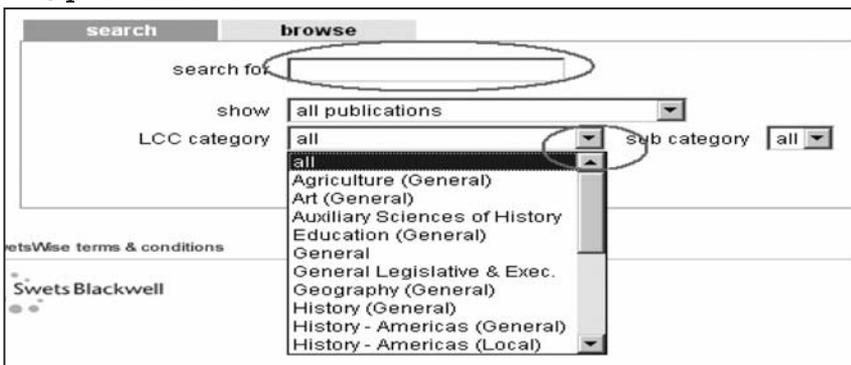


"table of content" をクリックすると目次情報を見ることができます。

ScienceDirect にあれば、論文の全文にジャンプします

電子ジャーナルヘルリンク

② **publications**



"search for" の後ろのボックスに雑誌のタイトルを入力または、  
 LCC category で分野を選択することもできます。

(電子情報係)

## 卒業論文作成のための資料・文献収集法

※ 卒業論文作成の季節がやってきました。今回は、図書館の Web ページを利用した、卒業論文の作成に必要な文献の収集方法をご紹介します。

### I. (文献入手のプロセス)

卒業論文を作成する際に必要な資料(図書・雑誌論文)は以下の方法で入手します。

- A. 調べたい主題(テーマ)をタイトル(書名)に直接的に含む**図書**を入手する。  
(下記Ⅱ→Ⅲ③④⑤、のプロセス)
- B. 主題・テーマ・執筆者名を含む論文の情報を検索し、**掲載論文**を**学術雑誌・大学紀要類**から入手する。  
(下記Ⅱ→Ⅲ①②→Ⅲ③④⑤、のプロセス)
- C. 上記A. やB. で入手できた資料の文末に書いてある、**参考文献・引用文献**を入手する。  
参考文献・引用文献も、調べたい主題(テーマ)の関連情報となっている場合がほとんどです。  
(下記Ⅱ→Ⅲ③④⑤、のプロセス)

### II. (ホームページへのアクセス)

まず、長崎大学附属図書館ホームページ (<http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/>) に、アクセスします。

### III. (資料・文献入手ための具体的方法)

図書館ホームページへアクセスしたら、「サービス案内」ボタンを押して「長崎大学附属図書館サービス案内画面」からそれぞれの検索項目をたどりながら検索します。

① **蔵書検索(OPAC)項目の国立国会図書館**  
→**雑誌記事索引の検索/申込**

- ・国立国会図書館が編纂する「雑誌記事索引」では、学術雑誌・大学紀要等に掲載された個々の論文に関する情報が検索できます。(論文自体はこれでは閲覧できません)
- ・主題(テーマ)や執筆者などから、関連する論文の情報を検索することができます。



② **電子情報項目のデータベースあるいは電子ジャーナル**

- ・さらに必要なら、学内から無料で利用できるデータベース・電子ジャーナル等から、文献情報や個々の論文そのものを検索・閲覧します。
- ・電子ジャーナル(本文・抄録)については、長崎大学図書館蔵書検索(OPAC)の所蔵表示画面から、電子ジャーナルの閲覧・検索画面へ移行できるようになりました。
- ・また、最近ではデータベースの検索結果から電子ジャーナルの閲覧・検索画面へ直接移行することができるものもあります。
- ・詳しい使い方は、カウンターの職員にお尋ね下さい。

現在、学内から無料で検索できる主なデータベースと検索対象分野は下記のとおりです。

データベース名	主要収録情報	データベース名	主要収録情報
Digital News Archives for Library	新聞記事	First Search	外国雑誌論文情報
ネットで百科 for Library	百科事典	NICHIGAI/WEB	図書・雑誌・論文情報
EconLit	経済学分野	ISI Journal Citation Reports (JCR)	論文引用情報
ERIC	教育学分野	ProQuest: Medline, Cinahl, Journals	医学・保健学分野
SwetsWise	外国雑誌目次等	Cochrane Library	医学分野
NACSIS-IR	自然・社会・人文科学分野	医学中央雑誌 Web 版	医学分野

・学外からも利用可能な代表的なデータベースやサイト集等

GeNii (ジーニイ)	<a href="http://ge.nii.ac.jp/">http://ge.nii.ac.jp/</a>	N I I 学術コンテンツ・ポータル 各種学術・学会情報 (※一部有料)
ingenta	<a href="http://www.ingenta.com/">http://www.ingenta.com/</a>	外国雑誌論文情報
Ariadne	<a href="http://ariadne.ne.jp/">http://ariadne.ne.jp/</a>	人文系サイト集

### ③ 蔵書検索 (OPAC) 項目の [長崎大学図書館](#)

- ・長崎大学で所蔵する図書 (1989年度以降受入分) や雑誌などについて、タイトル名 (書名・雑誌名) や著者名・発行団体名から検索できます。
- ・所蔵雑誌の巻号数を詳しくチェックして、学内での所蔵の有無を確認します。
- ・学内に所蔵があれば所在場所を調べて、すぐに入手手続きに移ります。
- ・表示された所在場所がわからないときや、資料が研究室で所蔵されているときには、カウンター職員にお尋ねください。

### ④ 蔵書検索 (OPAC) 項目の [全国大学図書館等 \(Webcat\)](#)

- ・③で学内に所蔵がなければ、ここから、**長崎大学を含む全国大学図書館等**の図書雑誌の所蔵をタイトル (書名や雑誌名) や著者名・発行団体名から検索できます。
- ・長崎大学で所蔵がない文献で、他大学等の所蔵が確認されたものは、**カウンター**で文献複写申込書に記入して取り寄せることができます。(図書館 Web ページからの申込も可能です。詳しくはカウンターまでお問い合わせ下さい)

### ⑤ 蔵書検索 (OPAC) 項目の [長崎県立長崎図書館・国立国会図書館等](#)

- ・③の長崎大学の蔵書検索や、④全国大学図書館等 (Webcat) に所蔵がなければ、長崎県立長崎図書館や国立国会図書館の蔵書検索で検索します。
- ・さらに、必要があれば、海外の議会図書館等の蔵書検索も試してみます。(書誌事項の確認にも利用できます)

<http://catalog.loc.gov/> 米国議会図書館  
<http://blpc.bl.uk/> 英国図書館

### ⑥ 論文情報などに記載されている図書名・雑誌名の書誌・所蔵が検索できない、論文の書誌事項どおりに文献にたどりついたが論文が存在しなかったときなどには、**カウンター職員**にお問い合わせ下さい。

### ⑦ 長崎大学で所蔵する図書で、一定期間過去にさかのぼる (1989年より前に出版された) ものを検索するときには、**図書目録カード**をひいて下さい。

## IV. (その他)

### ① 他大学等からの文献の取り寄せには、時間がかかることがありますので、**時間的に余裕を持って**手続きをおこなってください。

### ② 論文執筆の際には、引用文献・参考文献は、論文の末尾に必ず列挙してください。 引用箇所も、論文中にはっきりと明示してください。

### ③ そのほか資料・文献の収集の途中でわからないことがありましたら、**どのような些細なことでも結構です**でお気兼ねなく**カウンター職員**にご相談下さい。

(参考調査係)

## 長崎駅前で当館の画像データベースを紹介 ～「第5回ながさき IT フェア」に出展～

附属図書館では、10月17日(金)と18日(土)の両日、工学部土木情報システム研究室や総合情報処理センターと一緒に、長崎県高度情報化推進協議会主催の「第5回ながさき IT フェア」に参加し「日本古写真超高精細画像」をはじめ「幕末・明治期日本古写真コレクション」「グラバー図譜」の各データベースを来場者に展示紹介しました。

このフェアは、最新の情報通信機器やシステムを展示・実演することにより、県民の皆さまにブロードバンドの世界を目で見て体験してもらおうというもので、附属図書館が参加するのは昨年に続き2度目のことです。

会場は、多くの人々が行き交う JR 長崎駅改札口前の「かもめ広場」でした。通勤や買い物途中の人たちの他に、県外や海外からの観光客も、高速のインターネット回線を使った最新のマルチメディア機器やシステムのプレゼンテーションにしばらく足を止め、熱心に質問したり自分で操作を体験していました。

附属図書館では、長崎リコー株式会社との協力のもと、メディアサイトというタッチパネル式の大形ディスプレイを仮設して、当番制で配置された職員が画像データベースのプレゼンテーションを行ないました。また、事前に準備したチラシにより、附属図書館のホームページや文献データベース、電子ジャーナルの導入など大学図書館の電子化の動きも紹介しました。

来場者の中には古写真やグラバー図譜のデータベースについて既に知っている人も多く、この機会に直接質問や意見を寄せられるなど大変好評を得ました。当館の展示に足を止めてくださった人たちは、古写真やグラバー図譜といったコンテンツに惹かれた人たちと、大型のタッチパネルという機器に惹かれた人たちの



二派に分かれたようですが、それぞれが他の面にも気づくことになり、古い資料を最新の技術によって提供するという、当館データベースのコンセプトの一つが、ここでも功を奏しているように思われました。

また、一般の来場者が少なくなった合間には、フェアに参加している企業や団体の関係者がお互いの展示を見て回るということもあり、会場は県内で高度情報化の推進に関わっている人たちの交流や情報交換の場となりました。国立大学法人化を目前に、大学図書館は今後ますます地域との連携を求められることとなります。フェアでのプレゼンテーションや学外の人たちとの交流はそれを肌で感じる貴重な体験となりました。

なお、工学部土木情報システム研究室からは「構造物振動及び画像の遠隔モニタリング」、総合情報処理センターからは「長崎地域における学術ネットワーク」「ブロードバンドを用いた遠隔教育の可能性」というテーマでの出展がありました。どちらも会場と大学をブロードバンドで結び、画像や音声をリアルタイムで通信するというもので、多数の関心を集めていました。

(情報システム係)

## 最近の図書館サービスから

### ◇実習生およびインターンシップ受入

附属図書館では、平成15年8月5日（火）～8月8日（金）の日程でインターンシップ（就業体験）3名を受入れました。実習生は長崎女子商業高校3年生1名、活水女子大学3年生1名、長崎大学経済学部3年生1名の計3名でした。

初日の本部事務局での大学業務の全般的な説明および施設見学ののち、翌日の午前中は図書館で各係業務の説明を受け、午後からは附属図書館の資料管理係・資料サービス係・参考調査係の3係に別れ、それぞれ図書館業務の実習に移りました。

資料管理係では、実際の資料を手にとりて端末に受入データを入力したり、目録作成を実習して、図書館の重要な構成要素である資料が、どのようにして利用者の手にわたるのかを理解して頂きました。

また、資料サービス係では、カウンターで貸出・返却処理をおこなうとともに利用者への接し方を学び、参考調査係では、業務担当者の指導のもとに、図書館利用者からの質問に対する回答をカウンター席に臨席して見学したり、書庫での資料配架作業を実地におこなって頂きました。

各実習生とも、目的意識が明確で、担当者の説明を熱心に聞いていましたので、業務の飲み込みも早く、利用者としてカウンターの外からみていた図書館のイメージと実際に業務をしてみた図書館のイメージの違いを実感するとともに最近の情報の電子化、および、社会・大学における図書館の占める重要な役割も理解して頂けようです。

また、平成15年7月7日（月）～7月28日（月）に図書館情報大学生1名を図書館情報学の実習生として受入れました。こちらは、司書資格取得のための実習として、中央図書館・医学分館・経済学部分館の全業務を多角的に実習して頂きました。  
（参考調査係）

### ◇「長崎大学オープンキャンパス」にともなう図書館開放

平成15年8月20日（水）に長崎大学で開催された「長崎大学オープンキャンパス」にあわせて、今年も、附属図書館では、オープンキャンパスに参加された高校生・父兄に図書館を開放し、図書館の2階・3階の開架閲覧室の書架にある資料を自由に閲覧して頂きました。

また、附属図書館2階の情報処理センター設置端末室においては、設置端末30台を参加者に開放しましたので、参加者は、長崎大学の各部局から発信されている情報をインターネットで検索をおこなって、各部局での説明会や施設見学とあわせて具体的なイメージが得られた様子でした。

同時に、附属図書館3階では、長崎大学附属図書館が所蔵する「幕末・明治期日本古写真コレクション」から、長崎の風景に関する古写真等を選定してパネル化し、併せて、現在の写真も同時に展示することにより、参加者に長崎の今と昔の姿を興味深く比較して堪能して頂くことができました。



（図書館専門員）

## 県内大学図書館と公共図書館間で 「資料の相互利用・文献複写サービス」を開始！！

7月25日、長崎県立長崎図書館長室に於いて、長崎県大学図書館協議会と長崎県公共図書館等協議会の「相互協力に関するガイドライン」の調印式が行われました。

当日は、長崎大学附属図書館・岡林館長と大村市立図書館・森崎館長が両協議会を代表して協定書に署名捺印されました。

図書館活動は単館で全て対応できるものではなく、利用者のニーズに応えるため、近年は県単位で図書館ネットワークの組織化が進んでいます。

今回の協定は、両協議会が館種を越えた幅広い連携と協力により、県内の図書館活動の発展に資することを目的に行われたものであり相互協力に関する「ガイドライン」を定めたものです。これにより、公的制度として大学図書館と公共図書館間の資料の相互利用や文献複写サービスが開始されたこととなります。

サービス対象となるのは、長崎県内の大学図書館13館と公民館図書室を除く公共図書館27館で、図書館ネットワークが全県に広がり利用者サービスがおおいに向上するものと考えられます。

これまで、公共図書館にない専門書などを一般市民の方々が大学図書館に借用を希望する場合、公共図書館を通じて大学図書館と交渉しなければならず、時間や手間がかかっていましたが、両協議会間の「図書館資料の相互貸借要領」により所定の申し込み書に必要事項を記入し申し込めば、所蔵する図書館からそれぞれの利用規程に基づき借用できるように制度化されたものです。

また、文献複写サービスも同様となりました。

この他、今回調印されたガイドラインには県内の図書館活動の情報交換並びに連携・協力体制を促進するため、両協議会の会長及び事務局等は相互の総会に出席すること、研修会、講習会を開催する際、相互に案内を行い職員の出席を促し、資質向上に努めること、また、主催する講習会の講師として相互に職員の派遣を推進することなども記されています。

なお、この協定書は8月1日から適用されます。

(図書館専門員)



調印式で握手を交わす  
岡林館長と森崎館長

## 本学関係著作寄贈図書（平成15年7月～平成15年10月）

### 1. 堀田恭子・環境科学部助教授

新潟水俣病問題の受容と克服／堀田恭子著――東信堂，2002.2

（中央図書館 493.152||2002 1499101）

### 2. 高倉直・長崎大学名誉教授

植物の生長と環境：新しい視点と環境調節の課題／高倉直著――農山漁村文化協会，2003.7

（中央図書館 471.71||2003 1501416）

### 3. 戸田清・環境科学部助教授

・環境学と平和学／戸田清著――新泉社，2003.7

（中央図書館 319.8||2003 1501417）

・生物多様性の危機：精神のモノカルチャー／ヴァンダナ・シヴァ著；戸田清ほか訳――明石書店，2003.9 ―（明石ライブラリー:53）

（中央図書館 519.8||2003 1502465）

・動物の権利／デヴィッド・ドゥグラツィア〔著〕；戸田清訳・解説――岩波書店，2003.9 ―（1冊でわかる）

（中央図書館 480.9||2003 1502466）

### 4. 内田滋・経済学部教授

・金融／内田滋ほか編著――勁草書房，2002.9 ―（現代経済学のコア）

（中央図書館 338||2002 1501524）

・規制緩和と銀行競争／内田滋著――千倉書房，1995.5

（中央図書館 338.21||95 1501525）

・日系企業と東南アジアの経済発展／三原泰熙，内田滋編著――中央経済社，1993.7

（中央図書館 332.2||93 1501526）

・家庭運営の内発的展開／内田滋ほか著――昭和堂，1988.9 ―（叢書=オイコノミカ）

（中央図書館 591||88 1501527）

・現代生活経済とパーソナル・ファイナンス／内田滋著――ミネルヴァ書房，2003.10

（経済学部分館 591||U 3155455）

### 5. 田口光雄・工学部助教授

計算電磁気学／電気学会編；田口光雄ほか著――培風館，2003.7

（中央図書館 427||2003 1502467）

### 6. 安河内義己・教育学部教授

共生の教育：教育臨床・インタープリターの仕事／安河内義己著――近代文芸社，2002.8 ―（近代文芸社新書）

（中央図書館 375.8||2003 1502470）

### 7. 千住秀明・医学部教授

・研究のすすめ方：テーマ設定から論文執筆・学会発表までの総合スキル／日比野正己編；千住秀明ほか著――阪急コミュニケーションズ，2003.9

（中央図書館 002.7||2003 1502468）

（医学分館 002.7||2003 2129819）

（経済学部分館 002.7||S 3155456）

・はじめての研究法：コ・メディカルの研究法入門／千住秀明ほか著――神陵文庫，2003.6 ―（理学療法学テキスト / 全国PT・OT学校養成施設連絡協議会理学療法部会九州ブロック会編；別巻）

（中央図書館 490.7||2003 1502469）

（医学分館 490.7||2003 2129820）

### 8. 正木晴彦・環境科学部教授

・河川文化：河川文化を語る会講演集12／正木晴彦ほか著――日本河川協会，2003.2

（中央図書館 517.21||2003||12 1502472）

・東アジアの仏教／高崎直道ほか編；正木晴彦ほか著――岩波書店，1988.6 ―（岩波講座東洋思想：第12巻）

（中央図書館 180.2||88 1502473）

・浄土思想：／平川彰ほか編；正木晴彦ほか――新装版――春秋社，1996.3 ―（講座・大乘仏教：第5巻）

（中央図書館 181.02||96 1502474）

・岩波仏教辞典／中村元ほか編；正木晴彦ほか著――岩波書店，1989.12

（中央図書館 180.33||89 1502475）

・仏教・インド思想辞典／高崎直道〔ほか〕編；正木晴彦ほか著――春秋社，1987.4

（中央図書館 181||97 1502476）

### 9. 長崎大学医学部・歯学部附属病院中央技工室

開設二十周年記念論文集：1992.4-2002.3／長崎大学歯学部附属病院中央技工室編――，2002.12

（医学分館 497.04||2002 2129501）

### 10. 上平憲・医歯薬総合研究科教授

看護アセスメントに役立つ検査の読み方：各疾患の基礎知識、鑑別診断・病態評価のための検査内容と看護のポイント／上平憲，田代隆良監修――医学芸術社，2003.8 ―（できるナースブック）

（医学分館 492.1||2003 2129818）

### 11. 大倉真人・経済学部助教授

環境経済学の今日的課題／西日本理論経済学会編；大倉真人ほか著――勁草書房，2003.4 ―（現代経済学研究：第10号）

（経済学部分館 519.13||N 3155454）

ご寄贈ありがとうございました。  
学術図書、学術論文、官公庁・企業報告書類を執筆されました際には、図書館にご寄贈下さい。貴重な学術資料として活用いたします。

なお、中央図書館では、2階参考図書閲覧室に「長崎大学関係出版物コーナー」を設置し、ご寄贈頂きました資料を集中配架して、学内関係の出版物の収集・保存につとめております。

どうか今後ともご協力をお願いいたします。



## 情報スクラップル

### 中央図書館からのお知らせ

平成15年度の学生用図書が利用できるようになりました。  
中央図書館3階の新着図書コーナーに配架しますのでご利用下さい。

### 医学分館からのお知らせ



PubMedに、長崎大学で利用可能な  
電子ジャーナルへのリンクを設定しました

<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/entrez/query.fcgi?holding=ijpnulib> からアクセス  
すると、検索結果の詳細表示に、フルテキストページにジャンプする専用アイコン（上  
記）が表示されます。医学分館ホームページからご利用ください。

### 経済学部分館からのお知らせ

日曜開館（試行）を実施していますので是非ご利用下さい。  
開館時間午後1時～午後5時（休業期を除く日曜日）

### 電子ジャーナル関連のお知らせ

- ・OPAC(蔵書検索)と電子ジャーナルのリンクを作成しました。 **Online Journal** という  
表示が出たら電子ジャーナルが利用できます。このボタンをクリックしてください。
- ・自宅や出張先等学外から Elsevier Science Direct (SD) (申請が必要) と Wiley InterScience  
(IS) (登録が必要)が利用できるようになりました。
- ・よくある質問を作成しました。  
\*詳しくは附属図書館ホームページ「電子ジャーナルリンク集」をご覧ください。

## 図書館報のニックネームを募集します。

図書館報につきましましては、いつもご愛読ありがとうございます。  
このたび、図書館では、より一層みなさまから親しまれるよう、図書館報のニックネームを募集  
いたします。

応募期限 平成16年1月9日（金）  
応募先 附属図書館参考調査係 または、医学分館・経済学部分館各カウンター  
メール宛先 [sanko@lb.nagasaki-u.ac.jp](mailto:sanko@lb.nagasaki-u.ac.jp) まで、お願いします。

発表は、平成16年3月31日発行予定の「新入生歓迎号」でおこなう予定です。  
皆さん、奮ってご応募下さい。

長崎大学附属図書館報第90号 2003年（平成15年）11月31日発行

編集委員会

委員 長 森高 桂子

委員 金丸明彦・濱口千賀子・辻村恵二・深川昌彦・森石みどり・山本知美

発行 長崎大学附属図書館 〒852-8521 長崎市文教町1-14

電話 (095) 819-2193 (総務係) ホームページアドレス <http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/>